

平成28年10月1日から

B型肝炎ワクチンの定期接種が始まりました！

対象者 平成28年4月1日以降に生まれた0歳児
 ※母子感染予防として出生後、健康保険によりB型肝炎ワクチン投与を受けた場合は対象となりません。

接種期間 1歳の誕生日の前日まで **接種回数** 3回
接種間隔



接種方法 指定医療機関で個別に接種 **費用** 無料
持ち物 予診票、母子健康手帳、健康保険証
予診票

[H28.4.1～7.31生まれ] 平成28年9月末に自宅に郵送

[H28.8.1以降生まれ] 生後2カ月までに自宅に郵送
 ※予診票と一緒に詳しい案内を郵送しますので、よく読んでから接種してください。

B型肝炎とは

B型肝炎ウイルスによる感染症です。このウイルスは一過性の感染で終わる場合と、キャリア（感染している状態が続いている状態）になる場合があります。

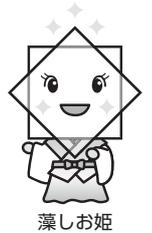
キャリアになると肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こすことがあります。また、免疫機能が未熟な3歳未満の乳児はキャリアになる危険性が高くなります。

ワクチンを接種することでB型肝炎ウイルスへの抵抗力（免疫）ができ、接種者自身も守られ、周りの人への感染も防ぐことができます。

感染経路

B型肝炎ウイルスを持ったお母さんから出産時に感染するほか、ウイルスに汚染された家族や友人の血液との接触、輸血、性行為などで感染することが知られています。また、原因不明で知らぬ間に感染していることもあります。

だれでも感染する可能性のある病気ですが、防ぐことができます！ワクチン接種でお子さんの健康を守りましょう！
 不明な点は主治医または保健センターに相談ください。



注意

- 3回の接種を終えるまでに、およそ半年かかります。早めにスケジュールなどを主治医と相談ください。
- 対象の方ですすでに数回接種した方は、3回のうち残りの回数を定期接種として受けることができます。（今までに受けた分は全額自己負担となります。）
- 接種後6日間は、ほかの予防接種を受けることができません。

冬の感染症を予防しよう！

インフルエンザやノロウイルスなどの感染症の多くは、接触感染や飛沫感染など、人と人の接触を原因とする感染です。感染症の特徴や感染経路を知って予防することで、この冬を健康に過ごしましょう。

インフルエンザ

主な感染経路 咳やくしゃみの際に口から発生する小さな水滴（飛沫）による飛沫感染



潜伏期間 1～2日。最大1週間程度
主な症状 突然の高熱、寒気、関節痛、腹痛、おう吐など



インフルエンザにかからないためのポイント

- 流行期にはできるだけ人込みに近づかない。
- 外出時はマスクをする。
- 帰宅後、調理や食事の前、トイレの後、便やおう吐物の処理後は、手洗い・うがいをする。
- 予防接種を受ける。（12月ころまでに受けましょう）
- 栄養と睡眠を十分に取り、抵抗力を高める。

感染性胃腸炎(主にノロウイルス)

主な感染経路 ほとんどが経口感染。例えば、感染した人のごくわずかなおう吐物・便に触れた手を介した場合、ノロウイルスを取り込んだ二枚貝を生や不十分な加熱処理で食べた場合、調理者の手を介して汚染された食品を食べた場合など

潜伏期間 1～2日程度
主な症状 吐き気、おう吐、下痢（複数回）、腹痛、発熱など。感染しても症状がない場合や、軽い風邪症状のこともあります



下痢やおう吐物の処理の仕方

- 窓を開けて換気をする。
- 使い捨て手袋かビニール袋を使い、直接手で触れない。
- おう吐物、処理に使ったタオルは袋に密封する。
- 汚染物がついた床や周囲は、塩素系漂白剤を染み込ませたペーパータオルなどで浸すように拭く。
- 十分に手洗い・うがいをする。

保健センター ☎ 364-4786